

中学校社会科 単元指導計画（歴史的分野） 【例】

○単元名「ユーラシアの変化と武士の政治の展開」（内容のまとめり B（2）中世の日本）

学習指導要領の目標や内容、「内容のまとめりごとの評価規準」の考え方等を踏まえ、「ユーラシアの変化と武士の政治の展開」を単元とした計画の例である。以下のように、「中世の日本」の学習の後半に本単元を位置付けている。

1（5時間） 武士の政治への進出と武士の政権の成立	2（8時間） ユーラシアの変化と武士の政治の展開
【○知識】	【○知識・○技能】
【●思考・判断・表現】	【○思考・判断・表現】
【●主体的に学習に取り組む態度】	【○主体的に学習に取り組む態度】

※「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 中学校社会 p25 から 42 参照

○単元の目標

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
<ul style="list-style-type: none"> 元寇がユーラシアの変化の中で起こったことを理解できるようにする。 南北朝の争乱と室町幕府、日明貿易、琉球の国際的な役割などを基に、武家政治の展開とともに、東アジアとの密接な関わりが見られたことを理解できるようにする。 農業など諸産業の発達、畿内を中心とした都市や農村における自治的な仕組みの成立、武士や民衆などの多様な文化の形成、応仁の乱後の社会的な変動などを基に、民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解できるようにする。 諸資料から歴史的な事象に関する様々な情報を効果的に調べまとめることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 武家政治の展開、東アジアにおける交流、農業や商工業の発達などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現できるようにする。 <p>（内容のまとめり）</p> <ul style="list-style-type: none"> 中世の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 武家政治の展開、東アジアにおける交流、農業や商工業の発達などに着目して、中世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとする態度を養う。

○単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 元寇がユーラシアの変化の中で起こったことを理解している。 南北朝の争乱と室町幕府、日明貿易、琉球の国際的な役割などを基に、武家政治の展開とともに、東アジアとの密接な関わりが見られたことを理解している。 農業など諸産業の発達、畿内を中心とした都市や農村における自治的な仕組みの成立、武士や民衆などの多様な文化の形成、応仁の乱後の社会的な変動などを基に、民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解している。 諸資料から歴史的な事象に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> 武家政治の展開、東アジアにおける交流、農業や商工業の発達などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、因果関係を明確にして、文章で表現している。 <p>（中項目）</p> <ul style="list-style-type: none"> 中世の日本を大観して、古代の日本の特色と比較しながら、その特色を多面的・多角的に考察し、文章で表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 中世の日本について、学習計画を振り返り修正しながら、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。

○指導と評価の計画（全8時間）

次 程	ねらい	主な学習活動・内容	評価規準と評価方法 生徒への支援
単 元 の 導 入 ①	<p>前単元の振り返りと、東アジアの交流、産業や文化の発達を資料等から読み取る活動を通して、ユーラシアの概念を理解するとともに、単元の課題を設定し、中項目の学習計画を見直したり修正したりできるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 前単元の振り返りから、これまでの学習で考察した中世の日本の特色を確認する。 9世紀と13世紀のアジアの地図を比較したり、モンゴル帝国の拡大による交易品の変化を調べたりする活動を通して、ヨーロッパ・西アジアの結び付きについて理解し、単元の課題を設定する。 	<p>【●知識】ヨーロッパ・西アジアの結び付き、ユーラシアの概念を理解している。</p> <p>【●技能】地図を比較し、変化を読み取っている。</p> <p>【●主体的に学習に取り組む態度】これまでの学習を振り返ったり、ユーラシアの概念を理解したりする学習過程の中で、単元の課題に対する考えを記述している。また、単元の学習計画を見直したり、修正したりしている。</p> <p>ワークシート、学習計画表、発言</p> <p>C ICTを用いて地図に色を付けた り、重ね合わせたりして視覚的に比較しやすいようにする。</p>
	<p>東アジアの交流、産業や文化の発達は、中世の日本の政治や文化にどのような影響を与えたのだろうか</p>		
第 一 次 ② ③ ④	<p>モンゴルの襲来が武士の政権に与えた影響について、ユーラシアの変化に着目して、資料等を活用して考察し理解できるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 史料や地図や系図などの資料、インターネット(1人1台端末)を用いて、モンゴルの襲来前後の武士政権の様子について調べ、表にまとめる。 調べた内容を基に、班や学級で考えを交流する。 	<p>【●知識】モンゴルの襲来が武士の政権に与えた影響について理解している。</p> <p>【●思考・判断・表現】モンゴルの襲来前後の武士政権の様子について資料等から読み取った内容を表にまとめて比較し、モンゴルの襲来が武士の政権に与えた影響について考察している。</p> <p>ワークシート、発言</p> <p>C 地図や系図などの資料のポイントを示したり、調べた内容から前後の変化の例を示したりする。</p>
	<p>武家政治の展開について、東アジアとの関わりに着目して、資料等を活用して考察し表現できるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 史料や地図や系図などの資料、インターネット(1人1台端末)を用いて、武家政治の展開と、東アジアとの関わりについて調べまとめる。 調べた内容を基に、班や学級で考えを交流する。 	<p>【●知識】南北朝の争乱と室町幕府、日明貿易、琉球の国際的な役割などを基に、武家政治の展開とともに、東アジアとの密接な関わりが見られたことを理解している。</p> <p>【●技能】武家政治の展開と、東アジアとの関わりについて諸資料から読み取ったこと内容を効果的に表や図などにまとめ、説明している。</p> <p>ワークシート、発言</p> <p>C 資料や関連ホームページ等を提示する。まとめる際に適切な思考ツールや方法を示す。</p>

第二次 ⑤ ⑥ ⑦	<p>農業の発達や自治的な仕組みの成立について、資料等から読み取ったり、読み取った内容を鎌倉時代の様子と比較したりすることを通して、理解できるようにする。</p>	<p>・史料や地図などから 15 世紀頃の農業の発達、畿内を中心とした都市や農村における自治的な仕組みの成立について読み取り、鎌倉時代の様子と比較する。</p>	<p>【●知識】農業など諸産業の発達、畿内を中心とした都市や農村における自治的な仕組みの成立したことを理解している。</p> <p>【●思考・判断・表現】農業の発達や自治的な仕組みの成立について、資料から読み取った内容を鎌倉時代の様子と比較し考察している。</p> <p>ワークシート、発言</p> <p>C 史料の着目する点を示したり、鎌倉時代の様子と比較しやすいように項目を示したりする。</p>
	<p>応仁の乱後の社会的な変動について、資料等から読み取る活動を通して理解できるようにする。</p>	<p>・史料や系図から、応仁の乱の背景やその後の社会的な変動について読み取り、理解する。</p>	<p>【●知識】応仁の乱の背景やその後の社会的な変動について理解している。</p> <p>ワークシート</p> <p>C 資料等から読み取った内容を表に整理したり、矢印でつないだりさせ、変化を読み取りやすくする。</p>
	<p>室町文化について、武士や民衆などの多様な文化の形成の背景と、東アジアとの関わりや室町幕府の政策、民衆の成長、応仁の乱後の社会的な変動などに関連付けて多面的・多角的に考察し、その特色を理解できるようにする。</p>	<p>・室町時代の代表的な絵画や建築などが形成された背景について、調べたり、これまでの学習内容と結び付けたりして考察する。</p>	<p>【○知識】民衆の成長を背景とした、武士や民衆などの多様な室町文化の特色を理解している。</p> <p>【●思考・判断・表現】室町文化の特色について、武士や民衆などの多様な文化の形成の背景と、東アジアとの関わりや室町幕府の政策、民衆の成長、応仁の乱後の社会的な変動などに関連付けて多面的・多角的に考察している。</p> <p>ワークシート、発言</p> <p>C 絵画や建築と歴史的事象の関連を線でつないで可視化したり、これまでの学習内容から例示したりする。</p>
内容のまとめりの振り返り ⑧	<p>古代の日本の特色と中世の日本の特色を比較したり、中世の日本の学習を振り返ったりする活動を通して、中世の日本の特色を理解できるようにする。</p>	<p>・単元の学習を基に、中世の日本の特色をまとめ、交流する。</p> <p>・古代の日本の特色と中世の日本の特色を比較し、共通点や大きな変化などに着目し、中世の日本を大観する。</p> <p>・中世の日本の学習について振り返りを行う。</p>	<p>【○知識】中世の日本の特色について理解している。</p> <p>【○技能】諸資料から歴史的事象に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。</p> <p>【○思考・判断・表現】中世の日本を大観して、その特色を多面的・多角的に考察し、文章で表現している。</p> <p>【○主体的に学習に取り組む態度】 ・中世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p> <p>ワークシート、発言、単元テスト</p> <p>C これまでの学習を振り返る時間を設けたり、調べた内容のポイントや関連を示したりする。</p>

※評価については国立教育政策研究所発行の「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料中学校社会を参考に設定した。

○・・・観点別学習状況の評価や評定に用いる「記録に残す評価」

●・・・学習状況を見取り、生徒の成長を認め励ますとともに必要に応じて指導、支援を行う「学習改善につなげる評価」

C・・・生徒への支援